

記入例

ミライカナエル活動サポート事業 エントリーシート

次のとおり、ミライカナエル活動サポート事業のエントリーシートを提出します。

提出年月日		2026 年 4 月 25 日	
団体名	特定非営利活動法人 ○○○○		
所在地	〒 2 5 1 - 8 6 0 1 藤沢市朝日町1番地の1		
代表者	藤沢 太郎	役職	理事長
プルダウンから選択	プルダウンから選択		
	代表者氏名 藤沢 太郎		
コース	協働コース	プルダウンから選択	
	・2026年8月 ~ 2027年3月(8か月間) (↑スタート・ステップアップ支援コースはこちら)		
事業名称 (20字以内)	地域共創促進事業	・2026年11月 ~ 2028年3月(1年5か月間) (↑協働コースはこちら)	
実施期間	2026年11月 ~ 2028年3月(1年5か月間)		
実施場所	藤沢市内 ○○市民センター	※施設等が決定していれば 記入(候補でも可)	
申請補助金額 (負担金額)	¥1,500,000	総事業費	¥1,875,000
事業目的 (100字以内)	各コースの補助額(負担額)の範囲内で記入してください。 本事業は、地域住民が抱える△△△の課題を解決すること及び、多世代・多分野の協働を促進し、持続可能な地域コミュニティの基盤を築くことで、地域社会全体の豊かさを向上させることを目的とする。		
事業概要 (100字以内)	地域住民を対象とした△△△に関する講座やワークショップを定期的 に開催する。また、地域課題解決に向けた◇◇◇プロジェクトを推進 し、参加者同士の交流と協働を促すことで、地域全体の活性化に貢献 する。		
協働相手の名称 (※ステップアップコース【ユニット提案】 または協働コースは記載)	藤沢市 ○○課		

(1)3年後どのようなミライにしたいか(200字以内)
※団体の活動を通して、どのような社会を実現したいか記入してください

3年後には、地域住民が自らの暮らしや地域に対する課題意識を共有し、主体的に解決策を検討・実行できる、活気あふれるコミュニティが実現しているミライを目指します。年齢や立場を超えて誰もが自由に意見を交わし、互いの知恵と力を出し合うことで、新たな価値が創造され続ける「共創のまち」となることを理想とします。これにより、地域全体のウェルビーイングが向上し、持続的な発展が期待されます。

(2)叶えたいミライに対して、現在の状況はどうなっているか(200字以内)
※解決したい課題を記入してください

現在の地域社会では、〇〇〇に関する情報や知識が一部に偏り、住民間の△△△に対する意識に大きな隔たりがあります。また、地域課題の解決に向けた具体的な行動が個人レベルに留まり、組織的・継続的な取り組みへと発展しにくい状況が見られます。これにより、住民が潜在的に抱える□□□のニーズが十分に満たされず、地域全体の活力が低下する要因となっています。

(3)現状に対して、団体は何をするか (200字以内)

本団体は、上記ギャップを解消するため、地域住民を対象に「〇〇〇推進プログラム」を実施します。具体的には、△△△に関する基礎講座を全16回、実践的なワークショップを全6回開催し、知識と実践の場を提供します。また、プログラム参加者による課題解決プロジェクトの立ち上げを支援し、継続的な活動へと繋がるよう伴走します。これにより、住民の意識変革と行動促進を図り、共創の文化を醸成します。

(4)そのミライを実現することで、誰が喜ぶのか (200字以内)
※この事業の受益対象者を記入してください

【地域住民】知識と実践機会を得て生活の質が向上し、地域参画意欲が高まる。
【地域活動団体・事業者】住民との連携強化で新たな協働機会が生まれ、活動の幅が広がる。
【行政】住民の主体的な課題解決参画により、負担軽減と効果的な地域運営が可能となる。
【本団体】課題解決事業を通じ、専門性が高まり、地域社会への影響力が増す。

この設問では次の項目をチェック

<審査の評価項目>

- 1.事業の公益性
- 2.事業の有効性
- 3.事業提案の特性
- 9.事業の発展性



(5)事業の詳細(500字以内)

※個別事業別に、目的、内容、対象、場所、実施手法、回数、対

この設問では次の項目をチェック

<審査の評価項目>



- 3.事業提案の特性
- 4.事業の継続性
- 5.事業提案の実現性
- 6.成果目標の設定

【〇〇〇基礎講座】

目的: 地域住民の〇〇〇に関する基礎知識を向上させ、設
 内容: 専門家による講演、グループディスカッション、事例紹
 対象: 地域住民(特に初心者層)
 場所: 市民センター会議室、オンライン
 実施手法: 月〇回開催(計16回)、各回参加者〇名を想定。
 回数: 年間16回
 対象者数: 延べ〇〇名

※補助金を使って行う具体的な事業について、個別事業別に、目的、
 内容、対象、場所、実施手法、回数、対象者数などについて、**数値等**
 の**定量的な指標を交えて**、できるだけ具体的に、ご記入ください。

(6)(5)で記載した個別事業別の達成目標と達成のための取組 (300字以内)

※各活動で目標とする達成水準と達成に向けた取組内容を記入してください
 ※協働コースは、必ず数値を用いて示してください

【〇〇〇基礎講座】

目標: 年間延べ〇〇名の参加者数を達成。受講者の〇〇%が「新たな知識を得た」と回答する。
 取組: 広報媒体の多様化(SNS、広報誌等)で周知強化。受講後アンケートでニーズを把握し、内容を継続
 改善する。

【(5)事業の詳細】で記載した**個別事業別に**、①目標とする達成水準、
 ②目標達成のための取組内容を記載してください。

(7)事業計画

※補助対象期間について記入してください。
 ※協働コースは2年度分記入してください

年	月	実施項目・内容
2026	年 11 月	・事業キックオフ会議(協働相手との役割最終確認) ・広報活動開始(チラシ、SNS等での参加者募集)
2026	年 12	・【〇〇〇基礎講座】第1回、第2回 開催
2027	年 1	コースごとの事業期間に合わせて、 スケジュールを立ててください。
2027	年 2 月	・【△△△実践ワークショップ】第2回 開催 ・課題解決プロジェクトのテーマ検討
2027	年 3 月	・【〇〇〇基礎講座】第5回、第6回 開催 ・1年度目の活動振り返り会議
2027	年 4 月	・2年度目活動計画の共有会議 ・【△△△実践ワークショッ
2027	年 5 月	・【〇〇〇基礎講座】第7回 ・プロジェクト立ち上げグル
2027	年 6 月	・【〇〇〇基礎講座】第9回 ・【△△△実践ワークショップ】第4回(フュールドワーク等)開催

この設問では次の項目をチェック

<審査の評価項目>



- 4.事業の継続性
- 5.事業提案の実現性

年 月	実施項目・内容
2027 年 7 月	<ul style="list-style-type: none"> ・【〇〇〇基礎講座】第11回、第12回 開催 ・プロジェクト活動の中間共有会
2027 年 8 月	<ul style="list-style-type: none"> ・【協働コースに申請する場合は、 ・【1年5か月分(2026年11月～2028年3月)の
2027 年 9 月	<ul style="list-style-type: none"> ・【スケジュールを立ててください。 ・【※スタート支援コース・ステップアップ支援コースに申請する
2027 年 10 月	<ul style="list-style-type: none"> ・【場合は、8か月分のみ ・【
2027 年 11 月	<ul style="list-style-type: none"> ・プロジェクト活動の成果とりまとめ支援 ・最終成果報告会の企画・準備
2027 年 12 月	<ul style="list-style-type: none"> ・協働相手と事業終了後の連携について協議 ・最終成果報告会の広報・参加者募集
2028 年 1 月	<ul style="list-style-type: none"> ・2年間の活動成果の集計・分析 ・最終成果報告会のリハーサル、最終準備
2028 年 2 月	<ul style="list-style-type: none"> ・最終成果報告会の開催
2028 年 3 月	<ul style="list-style-type: none"> ・事業全体の総括会議(関係者含む) ・今後の活動に関する情報発信

(8)申請事業に関する執行体制

総括責任者	氏名	藤沢 太郎		
個別事業責任者 ※各事業ごとの責任者を 記入してください。	事業責任者	氏名	〇〇〇基礎講座	
	事業責任者	氏名	△△△実践ワークショップ	
会計責任者	氏名	村岡 三郎		
本事業に携わる会員人数		4	人	

この設問では次の項目をチェック
 <審査の評価項目> 7.団体の実行体制

(9)提案事業の事業効果及び事業効果の測定方法(300字以内)

※提案事業が対象者や地域社会にもたらす効果とその効果の測定方法を具体的に記入してください

事業効果:本事業は、対象者に「〇〇〇に関する知識・実践意欲の向上」と「地域活動への積極的参加」をもたらします。参加者の〇〇%が「地域課題解決への関心が高まった」、〇〇%が「何らかの地域活動に参加するようになった」と回答することを目標。地域社会には「協働文化の醸成」として、新規協働プロジェクト〇件以上を目指します。

測定方法:

- ①プログラム参加者アンケート: 各プログラム終了時に、知識習得度、実践意欲、地域活動への関心度を定点観測。
- ②個別ヒアリング: プロジェクト立ち上げグループの活動状況を定期的に把握。
- ③地域活動参加状況の追跡調査: 参加者の地域活動への参加履歴を、同意を得て調査。

※提案事業の実施によりもたらされる【事業効果】と【事業効果の測定方法】を分けて記載してください。

(10)補助金・負担金終了後、どのようにして藤沢市内で事業を継続するのか(300字以内)

※2年目、3年目のアプローチを具体的に記入してください

【3年目】


資金調達の多様化: プログラム参加費の一部有料化(経済的困難者への配慮は維持)で事業費の〇〇%を自主財源で賄う。企業協賛、個人寄付、クラウドファンディングなど多角的な資金調達チャネルを確立。
 運営体制の強化: プログラム修了者から次期運営ボランティアを育成し、地域住民への主体移行を図る。

※スタート・ステップアップ支援コースに申請する団体は、事業終了後 2年目・3年目 について、協働コースに申請する団体は、3年目 の事業継続の方法について、記入してください。

この設問では次の項目をチェック
 <審査の評価項目> 4.事業の継続性
 6.成果目標の設定



以下の欄は、ステップアップ支援コース【ユニット提案】及び協働コースに申請する団体のみ記入してください。

(11) 役割分担	<p style="text-align: center;">この設問では次の項目をチェック</p> <p><審査の評価項目> 7.団体の実行体制 (ユニット提案) 10.役割分担 11.相乗効果</p> 
提案団体(代表者が属する団体)が果たす役割 (200字程度) <p>提案団体は、本事業全体の企画立案、運営統括、広報活動、会計管理を担います。具体的には、〇〇〇基礎講座および△△△実践ワークショップの講師手配、プログラム開発、参加者募集、実施場所の確保、そして課題解決プロジェクトの伴走支援を行います。また、協働相手との連携窓口となり、事業が円滑かつ効果的に進むよう、全体の推進役として責任を果たします。</p>	

協働相手が果たす役割 (200字程度) <p>本事業において、藤沢市〇〇課は、市民の主体的な地域参画促進と課題解決という行政の責務を担います。具体的には、行政が持つ地域内のネットワークを活かし、事業テーマに沿った最適なマッチング支援を行い、単独では生まれにくい新たな連携を創出し、事業基盤を強化します。さらに、広範な広報チャネル(市HP等)で情報発信し、多様な住民参加を促進。公共施設や設備の提供も行い、行政資源の効率的活用と、より質の高い住民サービス提供に貢献します。</p>

(12) 協働する意義・必要性 (400字程度) <p>本事業における協働は、事業効果の最大化と持続可能性確保に不可欠です。提案団体は地域課題解決への情熱と柔軟な運営ノウハウを持つ一方、広範な周知力、公的信頼性、大規模リソースには限界があります。協働相手である藤沢市は、高い住民信頼性、広範な情報発信力、公共施設の提供能力を有し、これらの点で当団体を補完します。 この協働により、提案団体の専門性と藤沢市の公共性が融合し、より多くの住民に事業を届け、安心して参加できる環境を創出します。藤沢市も住民ニーズを直接把握し、地域活性化施策へフィードバックする機会を得られます。互いの強みを活かし、知識、経験、ネットワークといった無形資産を共有することで、事業の認知度、参加者数、質が飛躍的に向上し、真の共創が生まれます。 この相乗効果こそが、本事業を通じて「共創のまち」というミライを実現し、持続可能な地域社会を築くための効果的なアプローチであると確信しています。</p>

※なぜ、申請団体と協働相手とが、協働して事業を実施すべきなのかをご記入ください。

(13) 協働相手の申請事業に関する執行体制
※ステップアップ支援コース【ユニット提案】のみ。協働相手分を記入する。

協働団体名			
総括責任者	氏名		
個別事業責任者	事業責任者	氏名	
	事業責任者	氏名	
※各事業ごとにご記入ください	ステップアップ支援コース【ユニット提案】に申請する場合は、協働相手の執行体制を記載してください。		
会計責			
本事業に携わる会員人数		人	

このページは、協働相手が2団体以上の申請をする団体のみ記入してください。
 ※2団体目以降の協働相手の執行体制について、協働相手別に作成してください。

(14) 協働相手の申請事業に関する執行体制

※ステップアップ支援コース【ユニット提案】のみ。協働相手別に記入する。

協働団体名			
総括責任者	氏名		
個別事業責任者	事業責任者	氏名	
※各事業ごとの をご記入ください	「ステップアップ支援コース【ユニット提案】」 選択の場合は、協働相手ごとに執行体制の記載が必要になります。協働相手が2団体以上ある場合は、2団体目はこちらに記入してください。 3団体目以降の分は、こちらを複写し追加分を作成してください。		
会計責任者			
本事業に携わる会員人数			人

ミライカナエル活動サポート事業 収支予算書

記入例

(収入の部)

〈協働コース1年目分〉(円)

費目	予算額	摘要(積算根拠)
ミライカナエル活動サポート事業 補助金・負担金(千円未満切り捨て)	500,000	
本事業収入	100,000	講座参加費 500円×20人×10回
団体拠出金	25,000	
合計	¥625,000	

協働コースに申請する場合は、
1年目、2年目、合算分の収支予算書を作成してください。

この設問では次の項目をチェック
 <審査の評価項目> 8. 予算の妥当性

(支出の部)

補助金・負担金 充当先	費目	予算	摘要
✓	謝金	120,000	講師謝金 20000円×5回+ファシリテーター謝金20000円×1回
✓	交通費	24,000	講師等交通費(●●~●●間) 4000円×6回
	消耗品費	50,000	事務用品A 20000円×2個 ワークショップ用具B 5000円×2個
✓	印刷製本費(1)	150,000	事業広報用チラシ 30円×5000部
	通信運搬費	30,000	チラシ郵送代:300円×10部×6回 通信費:12000円
✓	使用料	156,000	会場使用料 26,000円 × 6回
✓	賃借料	75,000	プロジェクター・音響機材リース料 15,000円 × 5ヶ月
✓	保険料	15,000	イベント保険料(1年目分)
✓	雑費	5,000	振込手数料等
	合計	¥625,000	

補助金(負担金)の充当先に✓をつけてください。
 摘要欄には品目、単価、数量を記載してください。

※ 収入の部、支出の部の合計が一致するように作成してください。

ミライカナエル活動サポート事業 収支予算書

記入例

(収入の部)

〈協働コース2年目〉(円)

費目	予算額	摘要(積算根拠)
ミライカナエル活動サポート事業 補助金・負担金(千円未満切り捨て)	1,000,000	
本事業収入	250,000	講座・WS参加費 500円 × 25人 × 20回
団体拠出金	0	
<div style="border: 1px solid orange; padding: 5px; margin: 10px auto; width: 80%;"> 協働コースに申請する場合は、 <b style="color: red;">1年目、2年目、合算分の収支予算書を作成してください。 </div>		
合計	¥1,250,000	

(支出の部)

(円)

補助金・負担金	費目	予算額	摘要(積算根拠)
✓	謝金	360,000	講師謝金 20,000円 × 15回 + WSファシリテーター謝金 20,000円 × 3回
	交通費	60,000	講師等交通費(●●~●●間) 3000円 × 20回
✓	消耗品費	100,000	事務用品A 25000円 × 2個 ワークショップ用具B 5000円 × 10個
✓	印刷製本費	100,000	事業広報用チラシ 20円 × 5000部
	通信運搬費	40,000	資料郵送代: 400円 × 10部 × 7回 通信費: 12000円
✓	使用料	360,000	会場使用料 20,000円 × 18回
✓	賃借料	180,000	機材リース料 15,000円 × 12ヶ月
✓	保険料	30,000	イベント保険料(2年目分)
✓	広報活動費	10,000	最終成果報告会 広報費(SNS広告等)
雑	補助金(負担金)の充当先に✓をつけてください。 摘要欄には品目、単価、数量を記載してください。		
	合計	¥1,250,000	

※ 収入の部、支出の部の合計が一致するように作成してください。

ミライカナエル活動サポート事業 収支予算書

(収入の部)

記入例

〈協働コース合算分〉(円)

費目	予算額	摘要(積算根拠)
ミライカナエル活動サポート事業 補助金・負担金(千円未満切り捨て)	1,500,000	
本事業収入	350,000	講座・WS参加費収入(2か年合計)
団体拠出金	25,000	
合計	¥1,875,000	

協働コースに申請する場合は、
1年目、2年目、合算分の収支予算書を作成してください。

(支出の部)

(円)

補助金・負担金	費目	予算額	摘要(積算根拠)
✓	謝金	480,000	講師・専門家等への謝礼金(2か年合計)
✓	交通費	84,000	講師等交通費(2か年合計)
	消耗品費	150,000	事務用品、ワークショップ用具材(2か年合計)
✓	印刷製本費	250,000	チラシ印刷費(2か年合計)
	通信運搬費	70,000	郵送、通信費(2か年合計)
✓	使用料	516,000	会場使用料(2か年合計)
✓	賃借料	255,000	機材リース料(2か年合計)
	保険料	45,000	イベント保険料(2か年合計)
広 雑	補助金(負担金)の充当先に✓をつけてください。 摘要欄には品目、単価、数量を記載してください。		
	合計	¥1,875,000	

※ 収入の部、支出の部の合計が一致するように作成してください。

ミライカナエル活動サポート事業 団体概要書

記入例

<記入上の注意>

- (1) 簡潔に分かりやすく記入してください。
- (2) ステップアップ支援コース【ユニット提案】は、協働相手分の団体概要書も作成してください。

団体名	特定非営利活動法人 ○○○○		
所在地	〒 2 5 1 - 8 6 0 1 藤沢市朝日町1番地の1		
代表者	藤沢 太郎	役職	理事長
設立年月(西暦)	2018 年 4 月	法人格の有無	有

事業の分野(主な該当分野を選択してください) ※複数選択可

プルダウンから選択

(1)	まちづくり	(2)	
(3)		(4)	(1)~(4)はプルダウンから選択
(5)その他	自由入力		

前年度決算額 ※スタート支援コースは記入不要	前年度の支出総額			¥5,000,000
構成員(正会員)の状況	個人	20 人	団体	3 団体
	うち若者数 ※スタート支援コース【ユース】のみ回答 人			
団体の活動目的 (200字以内)	本団体は、○○を通じて市民の△△意識を醸成し、地域交流の活性化を図ることを目的とする。			
直近2年の 主な活動実績 (200字以内) ※スタート支援コースは記入不要	<ul style="list-style-type: none"> ・□□を対象に△△△事業を○回実施 ・△△△についてのアンケートを□□を対象に実施 ・○○を作成し周知活動を実施 <p>プルダウンから選択</p>			
ホームページ・SNS(URL) ※ある団体のみ	http://○○○○○			
ミライカナエル活動 サポート事業の利用実績	有・無	(有の場合、実施年度とコースを記入) 令和2年度 ステップアップ支援コース		